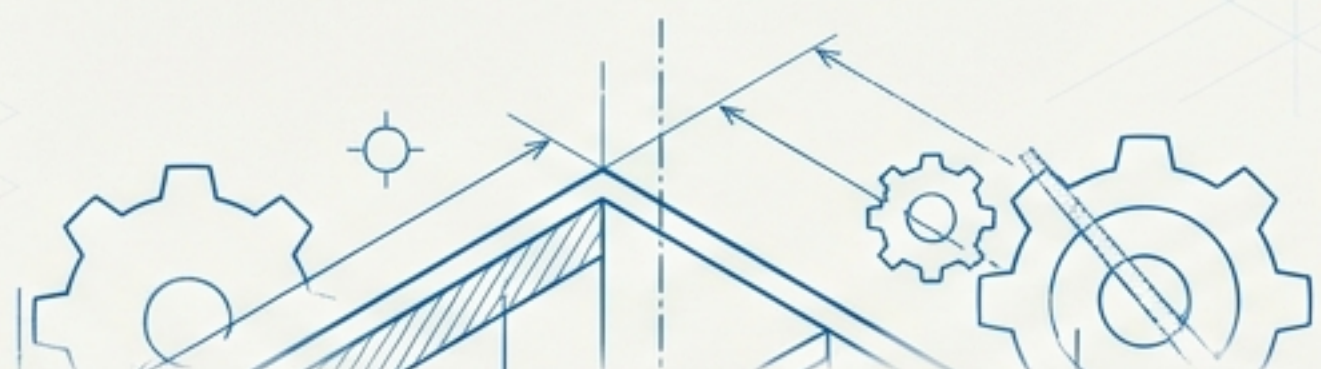
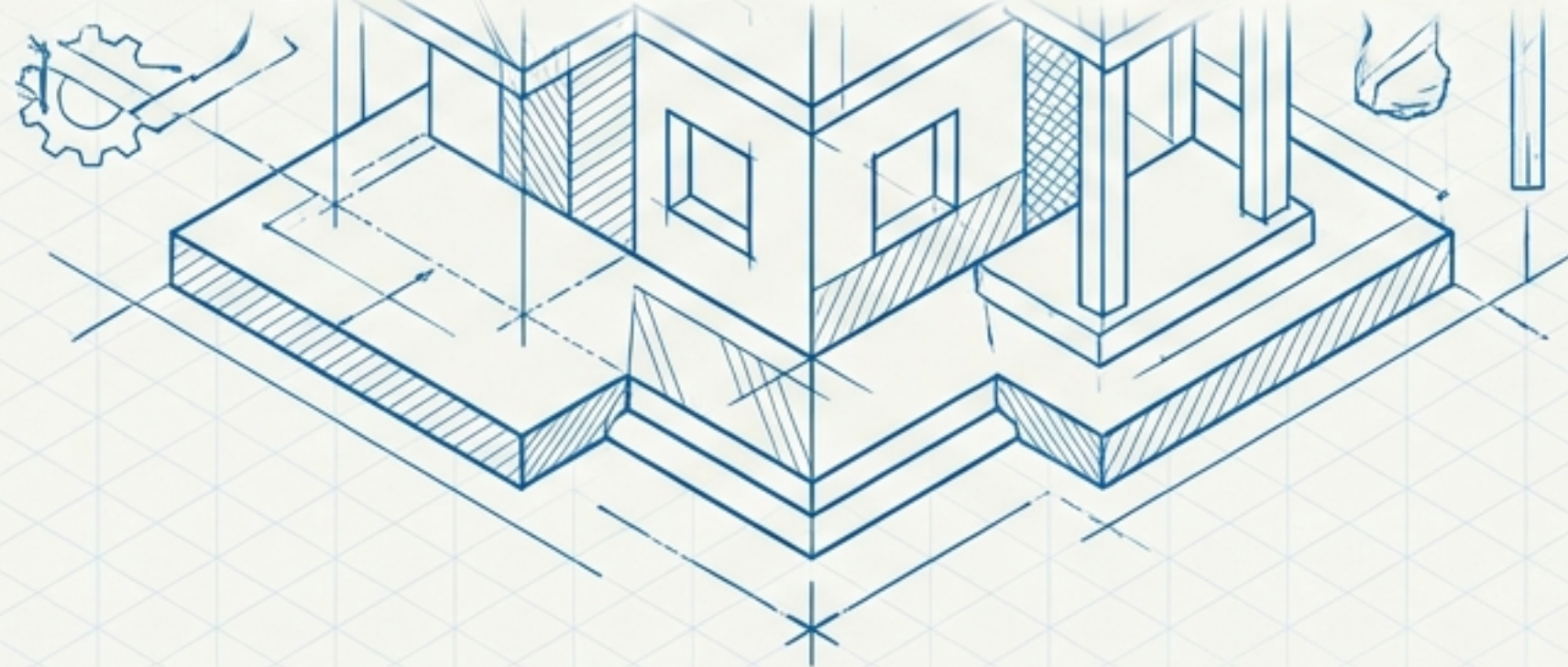




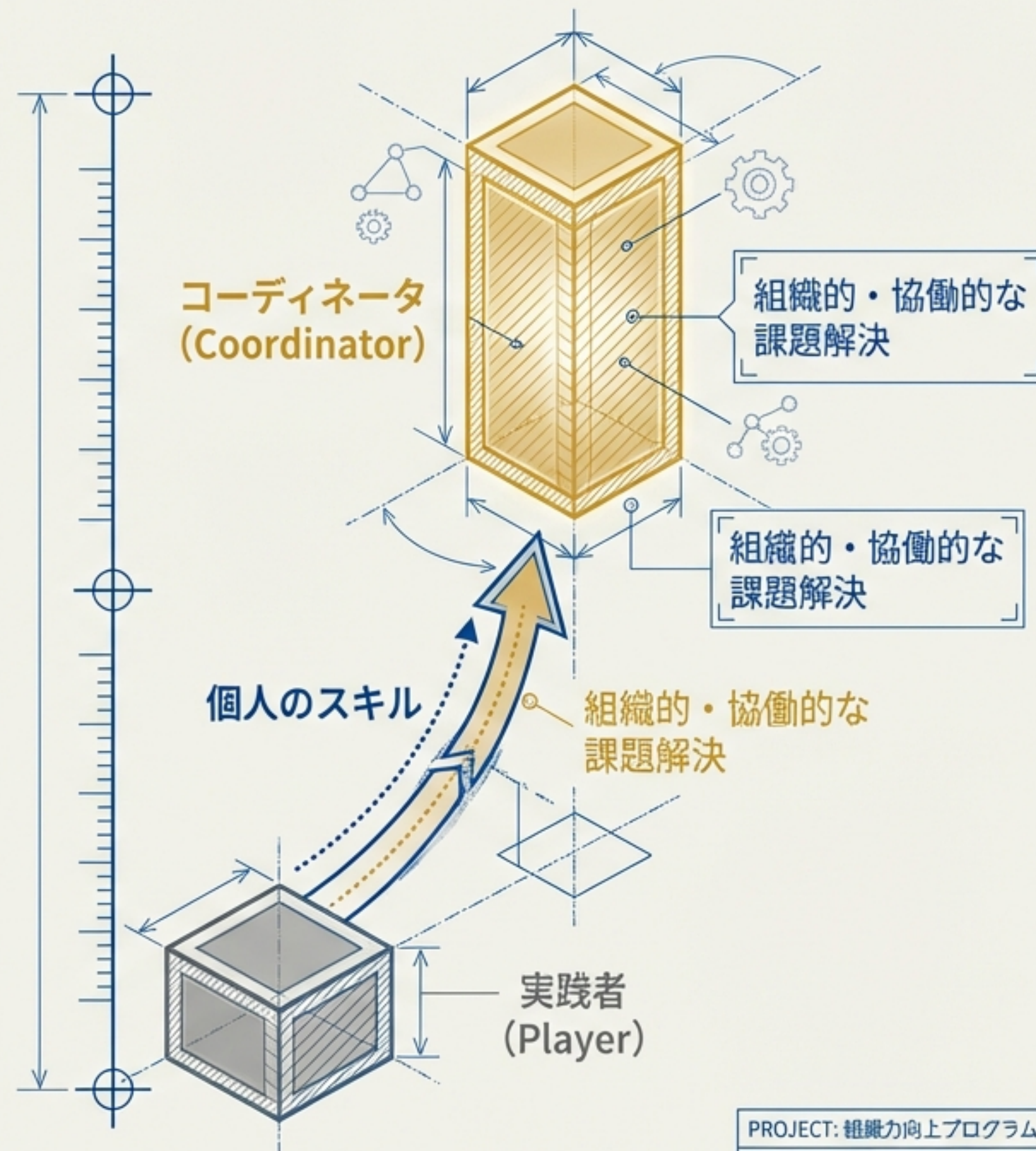
キャリアスーヅジに対応した 幼稚園教諭の資質・能力の構造化

幼児教育コーディネータに求められる高度な専門性と実践力

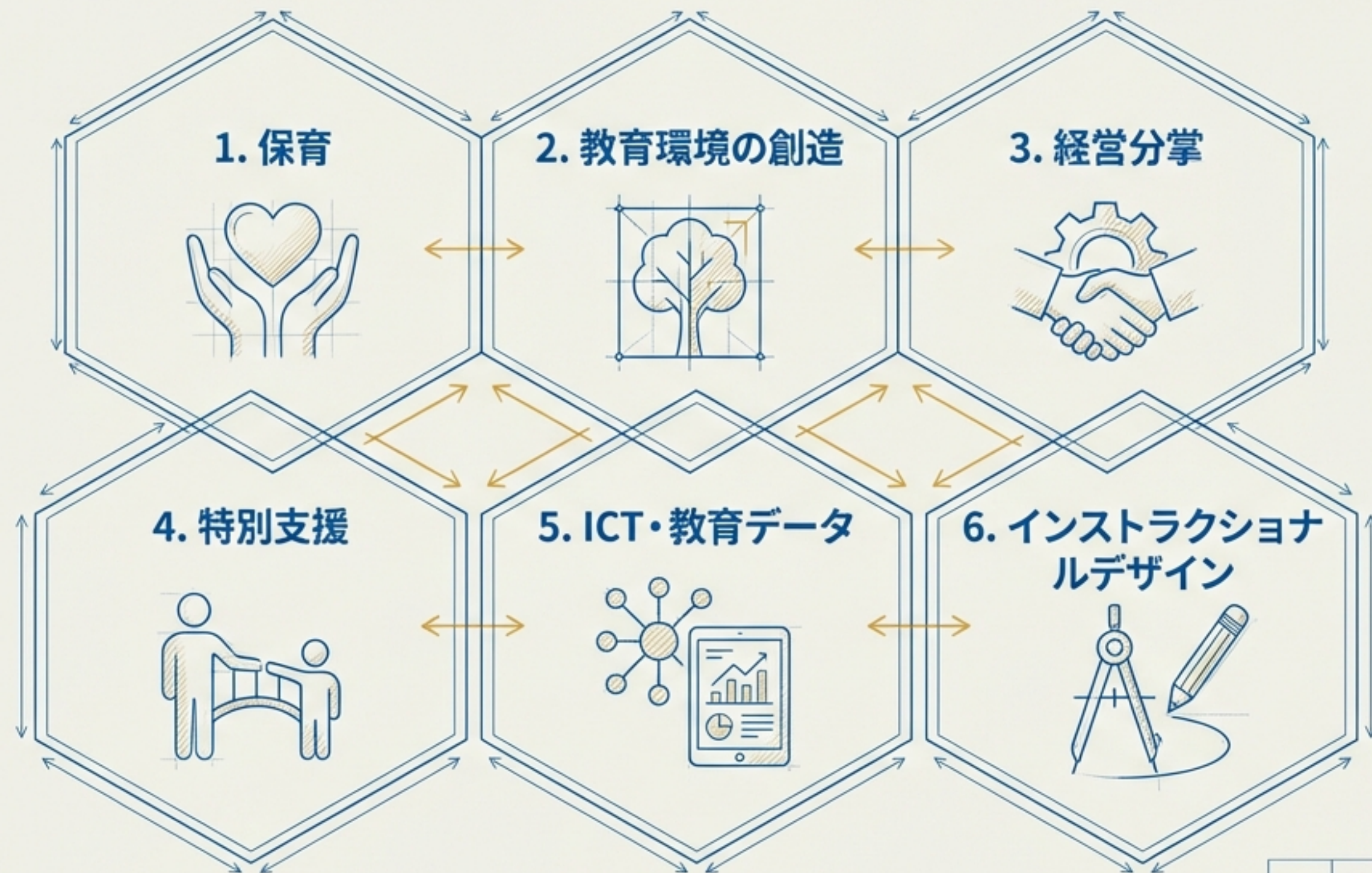


12年以上の経験を 「組織の力」へと昇華させる

- 対象：幼児教育コーディネータ
 - 幼稚園教諭2種免許状所持
 - 在職年数 12年以上
- 対応ステージ（岐阜県指標）：
 - 資質充実期
 - 資質貢献期



幼児教育コーディネータを支える6つの柱



SCALE: NTS	11
PROJECT: ECE COORDINATOR PILLARS	
DRAWN BY: SYSTEM ARCHITECT	
DATE: 2024/05/27	

実践のリーダーシップと環境の創造

1. 保育

- 自園の課題と幼稚園教育要領に基づく指導計画の作成
- モデルとなる保育実践の提示
(他の教員への普及)
- 評価に基づく指導計画の改善助言



2. 教育環境の創造

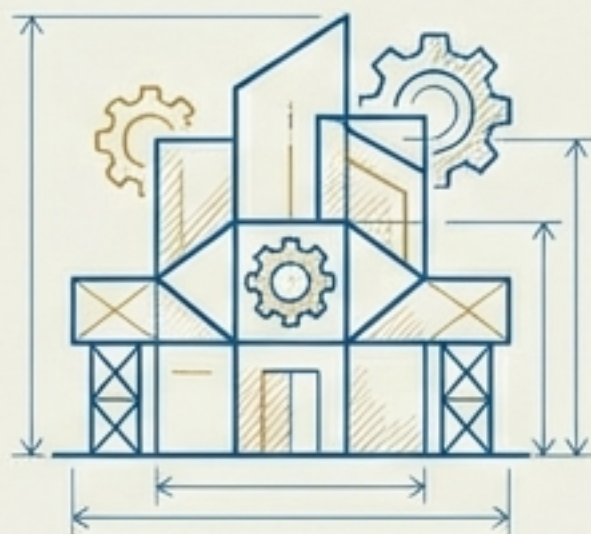
- データに基づく多面的・多角的な幼児理解
- 問題の未然防止システムの構築
- 多様な発達課題の明確化と対策の提案



組織マネジメントと包括的な支援体制

3. 経営分掌

- 分掌の推進と組織間の連絡・調整
- 教育目標の具現化に向けた若手教員の育成
- 事故防止と迅速な対応（危機管理）



4. 特別な配慮・支援

- 組織的・持続的な支援体制の主体的な構築
- 保護者・地域・関係機関と連携した包括的支援
- 一貫した教育支援の推進

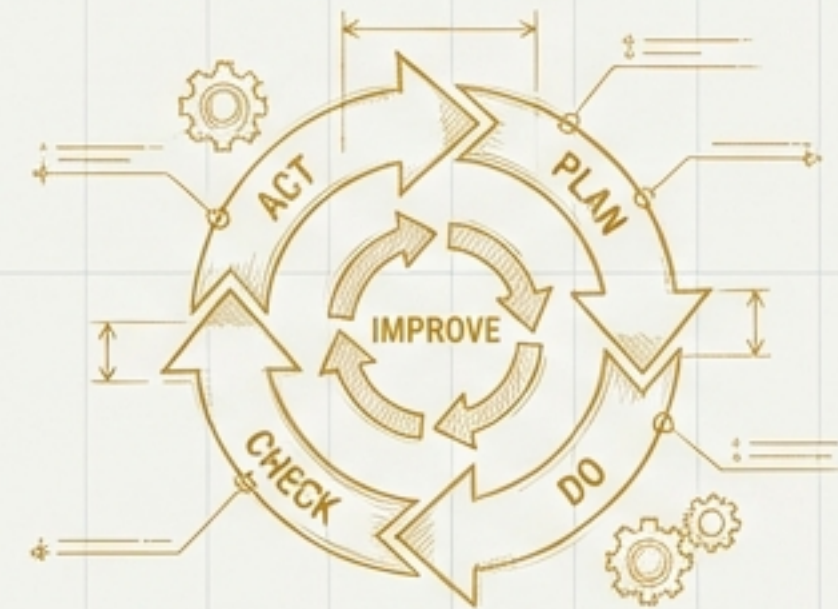


データ活用と「学びのデザイン」

5. ICT・教育データ

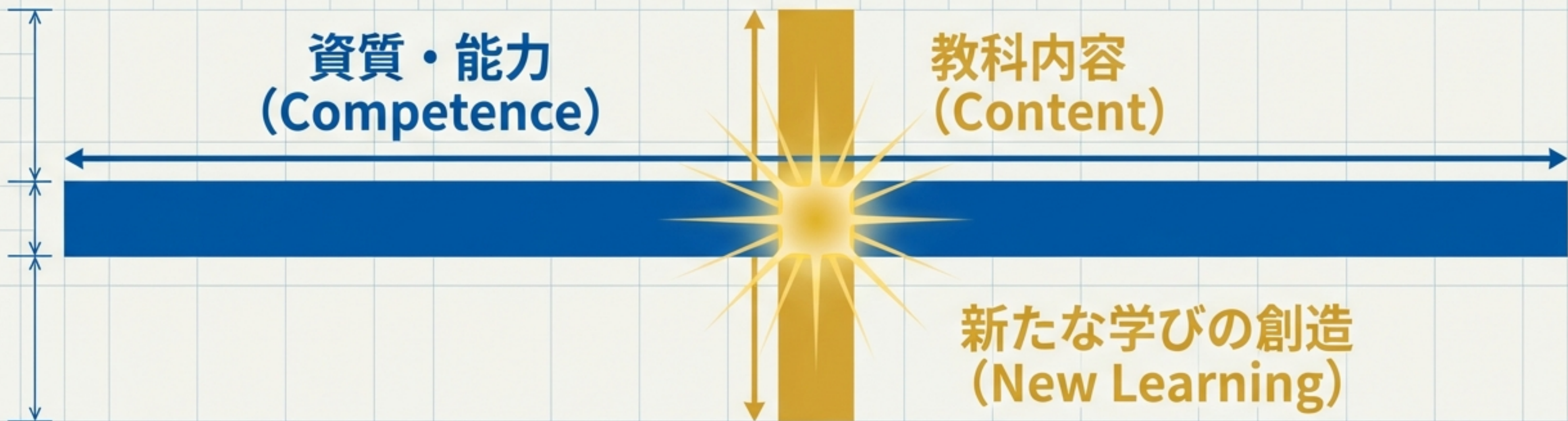
- ICT活用指導力の向上と実践提案
- データを俯瞰的に捉えた組織的課題の解決

6. インストラクショナルデザイン



- 「自分の学び」をデザインする必要性の説明
- ID第一原理に基づく実践的な学びの設計
- 学習目標に沿ったワークショップのデザイン
- 研修成果の具体的な評価と改善計画

コンピテンスとコンテンツの相互作用



資質・能力（横軸）：
内的傾向・態度。教科を
横断して育成される。

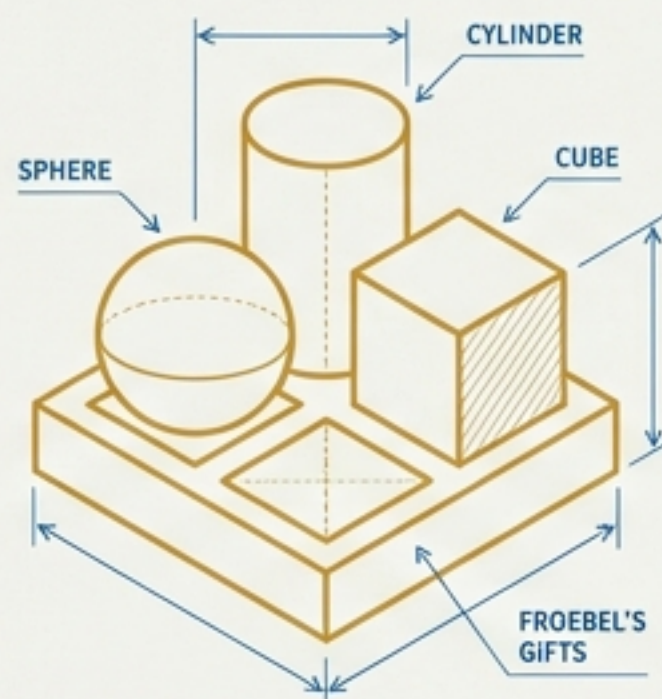
教科内容（縦軸）：
系統性のある知識の積
み上げ。

統合：双方が支え合い、
未知の問題解決を可能
にする。

理論と歴史を「現代の課題解決」に接続する

遊びと文化 (Play & Culture)

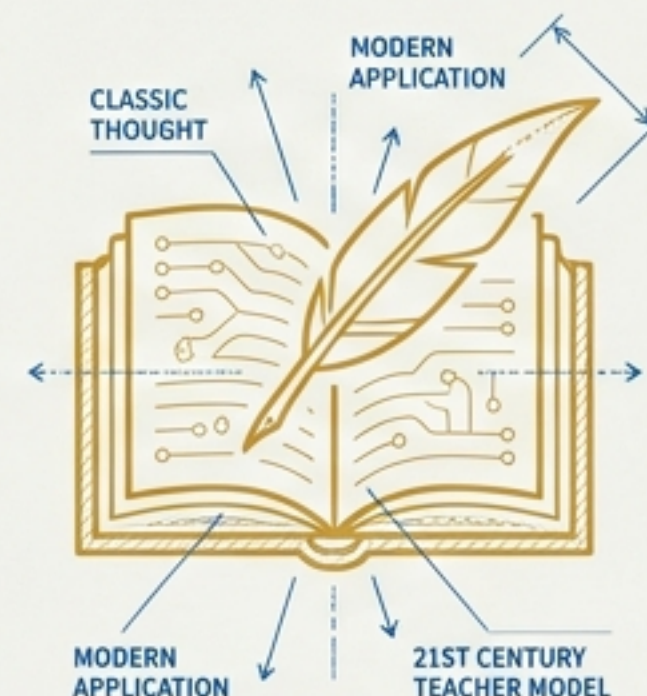
モンテッソーリ、フレーベルの恩物、OSIA行動カテゴリー等の理論を、自園の具体的課題の解決に応用する。日常保育の改善に向けた研究体制を整備。



Noto Serif JP Regular

教師論 (Teacher Theory)

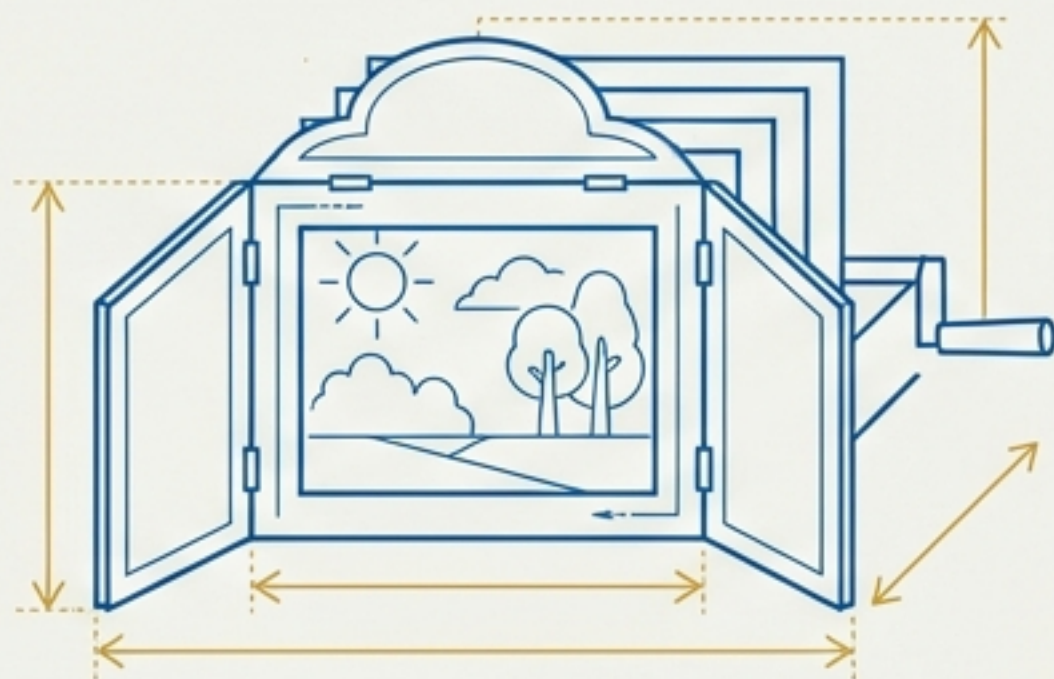
倉橋惣三や野村芳兵衛の思想から「不易」を学ぶ。先駆者の思想を基盤としつつ、地域・家庭と連携する21世紀型の教師像を確立する。



Noto Serif JP Regular

表現の探究とエビデンスに基づく理解

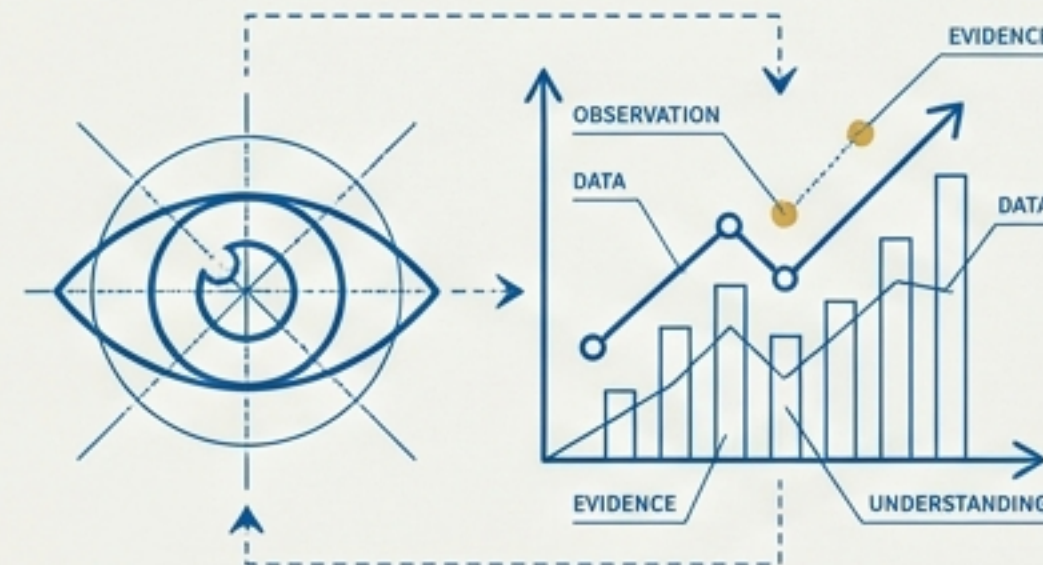
保育内容・表現 (Expression)



保育内容・表現 (Expression)

クリエイティブ・ラーニングの推進。「10の姿」を見通した造形教育の計画。個別のクラスだけでなく、園全体の問題意識に基づき研修テーマを絞り込む。

幼児理解 (Understanding)



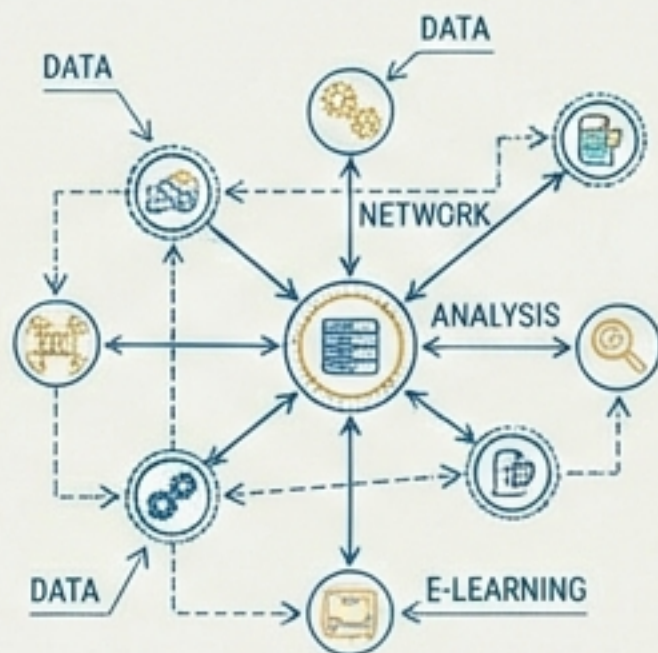
幼児理解 (Understanding)

主観的解釈から「エビデンスベース」の理解へ。継続的な観察と記録に基づき、幼児の言動を価値付ける。他者としての幼児を多角的に捉える。

指導技術の革新と相談支援の構築

教育の方法・技術 (Methods)

知識基盤社会における協働的な知の創造。デジタルアーカイブやe-Learning 支援分析の活用。ワークショップのデザインと研修効果の測定。

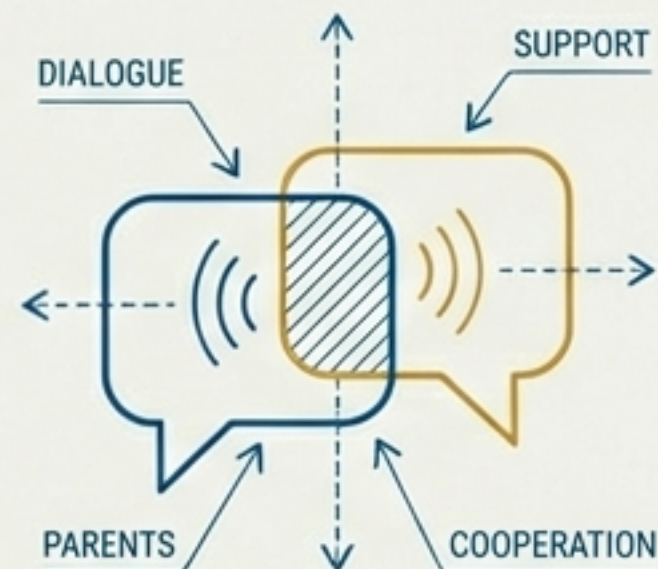


知識基盤社会における協働的な知の創造。デジタルアーカイブやe-Learning 支援分析の活用。ワークショップのデザインと研修効果の測定。

Noto Serif JP Regular

教育相談 (Consultation)

発達相談・子育て支援の意義理解。保護者相談の心得を持ち、組織的な協力体制で迅速に対応する。

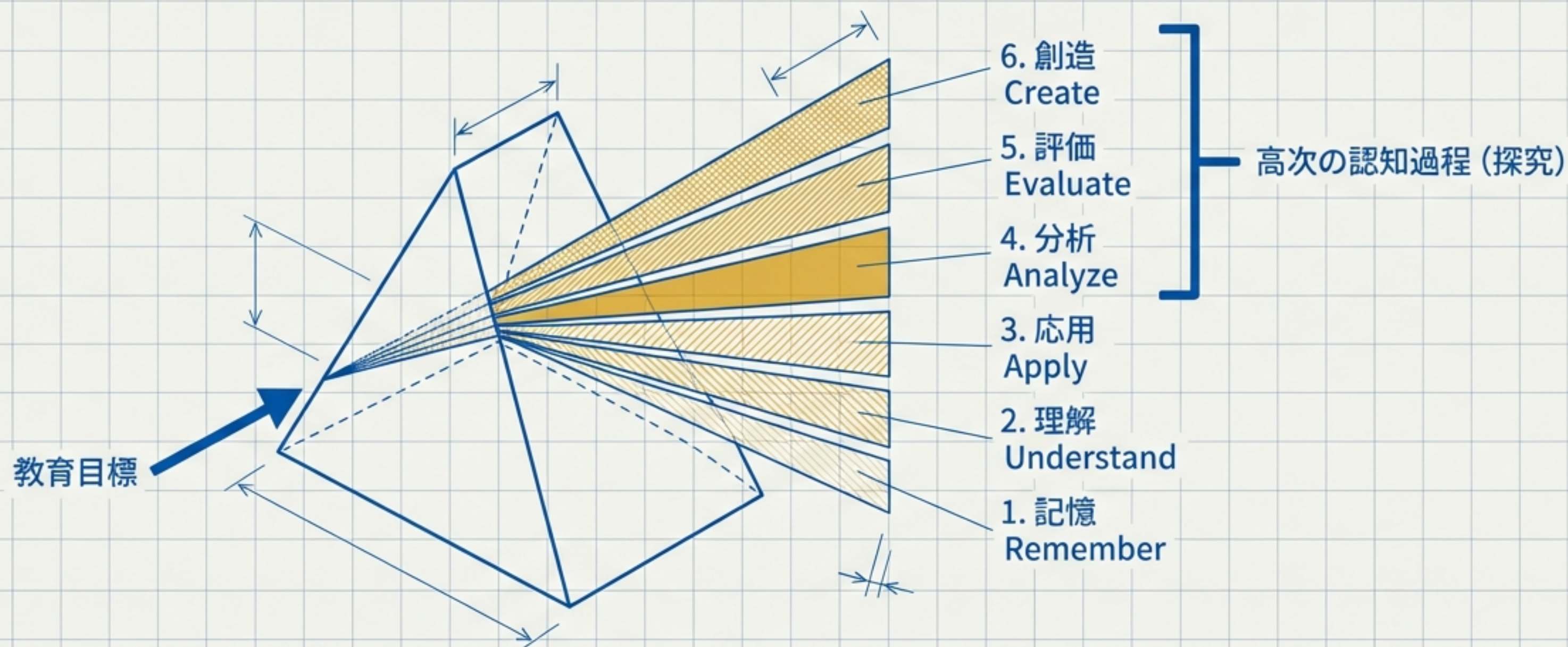


教育相談 (Consultation)

発達相談・子育て支援の意義理解。保護者相談の心得を持ち、組織的な協力体制で迅速に対応する。

Noto Serif JP Regular

教育目標を分析する「分光器」：ブルーム・タキソノミー



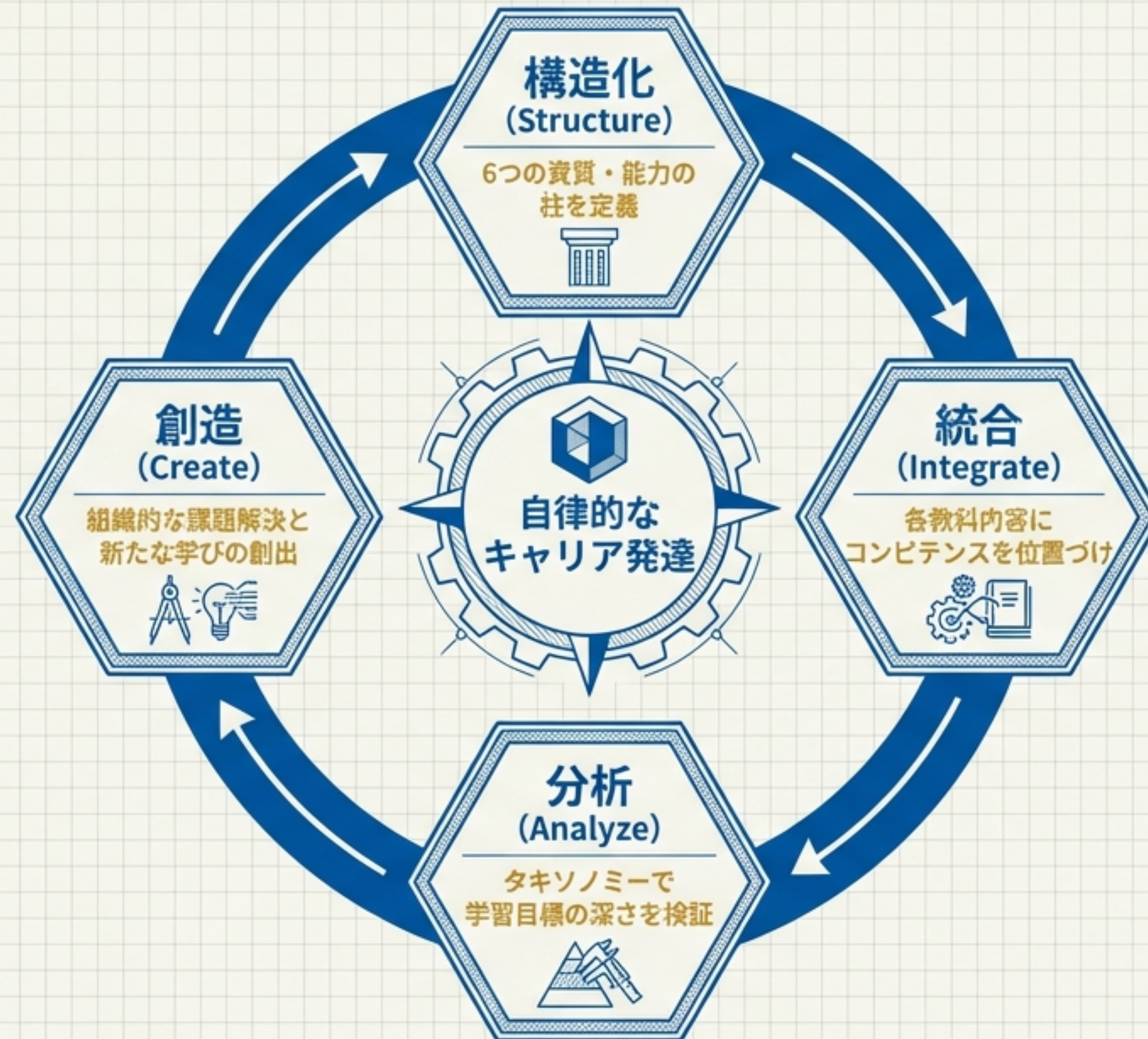
改訂版ブルーム・タキソノミー

タキソノミー・テーブルによる可視化

		認知過程次元 (Cognitive Process)					
		1.記憶	2.理解	3.応用	4.分析	5.評価	6.創造
知識次元 (Knowledge Dimension)	A.事実的知識						
	B.概念的知識						
	C.遂行的知識						
	D.メタ認知知識						

教育目標の「質」と認知の「深さ」を客観的に検証するマトリクス。

専門性向上のための循環サイクル



次なるステップ：自己変革への課題



コンピテンスとコンテンツの統合による、終わりのない専門性の追求。